

あとがき

2021 年も終わりに近づき、雑誌「臨床眼科」12月号をお届けする時期となりました。現在、第75回日本臨床眼科学会が福岡で開催されています。新型コロナウイルス感染もかなり下火になってきているのですが、医療関係者に対する制限は相変わらず厳しく、なかなか気軽に現地参加できません。ハイブリッド開催で年末まで Web で視聴できることは大変ありがたく感じてはいるものの、そろそろ堂々と現地で参加して皆さんと直接情報交換したいと心より思っております。来年は海外を含めていろいろな学会に直接参加できるのではないかと期待が膨らむところです。

一方で、来年からは日本専門医機構の新専門医制度による資格更新手続きが本格化してきそうです。専門医制度委員会委員長の近藤先生を中心として議論が進んでいますが、そろそろ移行のタイムリミットが近づいており、みんなで協力して体制を整えていく必要があります。面倒と思われる方も多いでしょうし、いい加減、機構なんかに付き合っていられないと思われる方もいるでしょうが、医療界のなかでの眼科の立場を守るためにも一致協力して乗り切っていきたいものです。

さて、本号の内容についてですが、何といってもハイライトは特集「網膜剥離の現在一見えてきた実像と最新の治療戦略」です。日本網膜硝子体学会で行われた網膜剥離レジストリ(J-RD レジストリ)の結果を基に、わが国での網膜剥離手術の現状が詳細に解析されており、それとともに最新の治療法についても詳しく記述されています。私どもの施設でも平均で週4,5件の網膜剥離手術を行っており、時には1日で4件以上の剥離患者が来ることもありますので、このような特集は大変役に立ちます。1人でも多く、1日でも早く網膜剥離術者として一人前になって欲しいのです。医局員に本特集を見せて、よく勉強してもらおうと思っています。バックリングの症例が減ってきている現在、広角観察システムとシャンデリア照明を使った手法は若い医局員にも取っつきがよいようで、今後ますます普及していくでしょうが、感染にだけはくれぐれも気を付けましょう。(鈴木康之)

編集顧問	清水弘一	増田寛次郎	大野重昭	玉井 信	三宅養三	西田輝夫	水流忠彦
	根本 昭	寺崎浩子	中澤 満	下村嘉一			
編集委員	坂本泰二	鈴木康之	稲谷 大	井上幸次	堀 裕一	西口康二	

臨床眼科 (第75巻 第13号)

2021年12月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価 3,080 円 (本体 2,800 円+税 10%)

(2021 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 税込, 送料弊社負担))
冊子版 44,154 円
電子版 (個人) 44,154 円
冊子+電子版 (個人) 49,654 円

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株) 文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2021, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。
- ・ 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・ **JCOPY** < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。
- ・ 「臨床眼科」は株式会社医学書院の登録商標です。

担当 山本・松井・安部